



# 安全互助会だより

第17号（令和5年8月20日発行）

一般財団法人北海道高等学校安全互助会

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目

第二道通ビル

TEL (011) 252-0200 FAX (011) 252-0201

URL <http://www.h-anzen.com/>



## 健康と安全を願って

理事長 海東 剛 哲

今年度は、7月下旬から1か月にわたり、「轟かせ 魂の鼓動 北の大地へ 大空へ」のスローガンのもと、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が北海道を中心に開催されています。安全互助会としまして、道内の高校生はもとより、全国から来道した選手のみなさんが、健康と安全を第一に日ごろの成果を思う存分発揮して、ご活躍されることを心から願っています。

さて、ポストコロナ期にあって、学校ではコロナ禍の経験から生まれた、子どもたちの活動を止めない工夫ある取組が行われていますし、通常の活発な教育活動が

徐々に戻ってまいりました。

本会といたしましても、この3年間をとおしてあらためて気付かせてくれた人と人との絆や思いやりの心を大切にしながら、相互扶助の精神で学校の円滑な教育活動に対しまして支援してまいる所存です。

ところで、自転車利用者のヘルメット着用が全年齢で努力義務化されてから5か月が経過しました。自転車運転中の事故による死亡の6割が頭部の損傷に起因しており、転倒時の衝撃緩和に対応したヘルメットの開発も進んでいます。学校や家庭だけでなく社会全体で安全意識の高揚に取り組んでいきたいものです。

今年度も、皆様の健康と安全を第一に本会の目的をしっかりと踏まえながら、各事業に真摯に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力、そして本会事業への積極的なご活用をお願い申し上げます。

## ■ 令和5年度 定時評議員会

5月20日（土）16時から、ホテルロイトン札幌において、令和5年度定時評議員会が、評議員16名中9名が出席し開催されました。

海東剛哲理事長の挨拶後、議長に上野純評議員、議事録署名人に福田梢評議員、清原孝志評議員を選任した後、議事に入りました。議事概要は次のとおりです。

- ・第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算の承認  
事業報告では、加入数、安全普及啓発活動、給付件数や給付額の減少等が報告され承認されました。
- ・第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算の報告  
2月17日（金）の令和4年度第4回理事会で決定された令和5年度の具体的な事業計画と収支予算が承認されました。
- ・第3号議案 評議員の選任  
13名の評議員の辞任を了承し、新たに補充する13名を選任しました。任期は令和8年度定時評議員会終了時までです。
- ・第4号議案 役員（理事・監事）の選任  
2名の理事及び2名の監事の辞任を了承し、新たに補充するそれぞれ2名を選任しました。任期はいずれも令和6年度定時評議員会終了時までです。

最後に海東理事長から今年度の役員（理事と監事）が紹介され、閉会しました。

## ■ 健康安全普及啓発活動への取組

共済事業とともに、生徒の安全及び健康保持について支援する健康安全普及啓発活動も本会の重要な使命です。

その取組の一つで、生徒を対象とした専門家によるトレーニングやストレッチの実技指導を行う講座を開催しています。これは、学校の体育の授業等を活用させていただき、専門のトレーナーからの実技指導を受けながら、ケガの予防や生涯にわたる健康づくりの正しい知識と技術を習得できるようプログラムを組んでいます。

今年度はすでに、八雲高校、寿都高校、羽幌高校において開催しており、生徒からも「普段の生活で、立ち上がったたり座ったりする動作の大切さと、それを生涯にわたって維持するための方法を身に付けることができた」、「家族のみんなが健康でいられるよう、今日学んだことを教えてあげたい」というような声が多く聞かれ、大好評を得ています。

また、部活動指導者や養護教諭等を対象にした健康と安全に関わる講演会も実施しておりますので、今後とも多くの皆様の本事業のご活用を期待しています。



### 令和4年度共済金の給付状況

前年度から続くコロナ禍にあって、給付件数は183件減少しましたが、給付額は増加しました。

共済金等給付総計	2,341件	33,431,000円
----------	--------	-------------

※ 生徒へ給付した共済金及び香料、PTA会員へ給付した共済金の合計です。

#### ○生徒への給付

死亡	1件	5,000,000円
障害	1件	650,000円

※ 学校管理下（自転車で下校中）に死亡交通事故が1件発生しました。

傷病	2,333件	27,331,000円
----	--------	-------------

※ 安全互助会ではスポーツ振興センターの給付状況に応じて毎月給付しています。実際に発生した災害の件数は1,535件でした。発生状況を分析します。

#### ・場面別

学校管理下の傷病では部活動中1,012件、授業中393件、通学中92件、休憩中37件です。

部活動中では、バスケットボール、サッカー、野球で522件を占めています。スポーツ振興センターの全国統計でも、この3つの部が最も多くなっています。

部活動の次に多いのは授業中の393件で、そのうち321件は体育の授業中です。球技でのケガが多いですが、跳び箱やスキー授業などでの発生も見られます。

通学中のうち64件が自転車運転中です。また、休憩中は運動をしているときのケガが多いですが、階段の踏み外しによる転倒なども発生しています。

#### ・傷病別

骨折	393件
捻挫	218件
脱臼	79件
打撲・挫傷	221件
創傷	50件
靭帯損傷・断裂	282件
半月板損傷・断裂	42件
腱損傷・断裂	14件
歯牙破折	14件
その他負傷	49件
疾病	173件

骨折が最も多く、靭帯損傷・断裂、打撲・挫傷が続きます。疾病では、運動に起因するものが139件で最も多く、なかでも椎間板ヘルニア、腰椎分離症など腰を痛めるケースは81件と多くなっています。

#### ・部位別

足首や膝部を中心に下半身が5割を占めています。頭頸部と体幹部は3割、上肢部は2割となっています。

傷病と部位の相関のうち、骨折では手・指が最も多くついで足・指、足首、鼻と続きます。靭帯損傷・断裂や捻挫は足首と膝が大部分で、頭部の打撲も見られます。

歯科補綴	1件	40,000円
------	----	---------

※ 破折した歯を保険診療外で治療した場合に給付する制度です。

香料	4件	400,000円
----	----	----------

※ 学校やPTAの管理下でない場合における生徒の死亡に対して10万円を給付する制度です。

#### ○PTAへの給付

P 傷病	1件	10,000円
------	----	---------

※ PTA活動中にPTA会員が被った災害への給付制度ですが、昨年度は1件発生しています。

### 令和4年度末財務状況

#### 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	54,491,955	55,126,160	△ 634,205
現金預金（普通支払備金分）	734,000	916,600	△ 182,600
現金預金（既発生未報告支払備金分）	15,001,333	13,859,567	1,141,766
未収金	0	0	0
前払金	0	0	0
流動資産計	70,227,288	69,902,327	324,961
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	0	0	0
基本財産計	0	0	0
(2) 特定資産			
準備金積立金	100,127,345	80,127,345	20,000,000
責任準備金積立金	25,262,739	22,362,976	2,899,763
退職給付引当積立金	1,320,900	1,226,550	94,350
特定資産計	126,710,984	103,716,871	22,994,113
固定資産計	126,710,984	103,716,871	22,994,113
資産合計	196,938,272	173,619,198	23,319,074
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
普通支払備金	734,000	916,600	△ 182,600
既発生未報告支払備金	15,001,333	13,859,567	1,141,766
未払金	0	0	0
預り金	205,448	207,724	△ 2,276
流動負債計	15,940,781	14,983,891	956,890
2. 固定負債			
準備金	100,127,345	80,127,345	20,000,000
責任準備金	25,262,739	22,362,976	2,899,763
退職給付引当金	1,320,900	1,226,550	94,350
固定負債計	126,710,984	103,716,871	22,994,113
負債合計	142,651,765	118,700,762	23,951,003
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
（うち基本財産への充当額）	( 0 )	( 0 )	( 0 )
（うち特定資産への充当額）	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. 一般正味財産	54,286,507	54,918,436	△ 631,929
（うち基本財産への充当額）	( 0 )	( 0 )	( 0 )
（うち特定資産への充当額）	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	54,286,507	54,918,436	△ 631,929
負債及び正味財産合計	196,938,272	173,619,198	23,319,074

### 令和5年度加入状況（7月末現在）

- 加入校 180校
- 生徒
  - ・全日制 54,220人
  - ・定時制 628人
  - ・専攻科 201人
  - 生徒計 55,049人
- 教職員 3,436人
- 子弟が在学していないPTA 52人
- 総計 58,537人

※ 加入校は1校減少し、加入生徒数で2,106人減少しました。

※ 加入した生徒の父母を加えた、共済事業の対象となる総人数は約158,000人です。

## ■ 令和5年度業務計画

4月6日	公認会計士監査
4月15日	監事監査
4月15日	第1回理事会
5～6月	高P連支部総会における事業広報
5月20日	定時評議員会
6月30日	4年度事業報告書提出（道教委へ）
7月7日	道教育長・道教委関係部局との懇談会
7月24日	全国高校安全互助会連絡協議会役員会
7月29日	第2回理事会
8月	役員変更届（道教委へ）
8月20日	互助会だより第17号発行
11月	公認会計士監査 審査委員会
12月8日	全国高校安全互助会連絡協議会総会
12月16日	第3回理事会
2月1日	「令和6年度共済事業の手引」発行 互助会だより第18号発行
2月16日	第4回理事会
3月	6年度安全普及啓発活動届（道教委へ）
4月上旬	内部会計定期監査 公認会計士監査 監事監査

この他に、常務理事会や偶数月初旬には内部会計定期監査が実施されます。

また、秋には安全普及啓発活動として生徒や指導者等対象の事業を実施します。

## ■ 令和5年度健康安全普及啓発事業

本会の健康安全普及啓発活動の一環として、各校で実施される講演会等の外部講師の謝金及び旅費について補助する事業があります。

この事業は、平成30年度からスタートして6年目となります。

現在、大学の教授や心理士などの専門家を招聘して、心の健康や性教育に関する講話、がん教室や健康安全教室などの取組が全道17校で積極的に実施されております。

高齢化、少子化が急速に進む本道において、自身の健康とともに他者に対する健康や命を大切にす心の涵養は、きわめて大切な課題と考えております。

本会としましても、皆様方の本会事業へのご理解とご協力をいただき、学校支援に努めてまいり所存ですので、よろしくお願いいたします。

※実施校は増加傾向にありますが、さらに多くの学校で、この制度を有効活用いただきたいと思っております。

追加で応募したい学校がありましたら、事務局までご連絡ください。

## ■ 令和5年度収支予算

《収入の部》

（単位：円）

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減
会費収入	79,450,000	81,970,000	△2,520,000
特定資産積立金収入	495,000	0	495,000
雑収入	282,000	275,000	7,000
準備金等戻入額	17,626,404	17,226,700	399,704
収入合計	97,853,404	99,471,700	△1,618,296

《支出の部》

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減
事業費	97,048,000	102,674,000	△5,626,000
共済給付事業費	54,000,000	54,200,000	△200,000
準備金等繰入額	22,501,379	25,156,183	△2,654,804
安全普及費	4,190,000	4,240,000	△50,000
広報事業費	2,300,000	3,140,000	△840,000
助成事業費	1,200,000	1,200,000	0
調査研究費	1,660,000	1,440,000	220,000
人件費	7,150,000	9,150,000	△2,000,000
需用費	3,720,000	3,750,000	△30,000
雑費	326,621	397,817	△71,196
管理費	14,320,000	13,254,000	1,066,000
人件費	10,250,000	9,133,050	1,116,950
事務費	1,650,000	1,800,000	△150,000
需用費	2,300,000	2,200,000	100,000
雑費	120,000	120,950	△950
当期支出合計	111,368,000	115,928,000	△4,560,000
当期収支差額	△13,514,596	△16,456,300	2,941,704
前期繰越収支差額	49,320,502	49,320,502	0
次期繰越収支差額	35,805,906	32,864,202	2,941,704

### 事務局から

- ・ 共済金請求に必要な「第7号様式」が2年前に改正されています。ホームページからダウンロードして、新様式で請求してください。
- ・ 請求書の学校長・PTA会長職印の押印忘れや、継続であっても初めての請求の際には災害報告書の写しを添付することに留意してください。





## 保健室からこんにちは！！



## 「暑い夏に思う」

札幌白石高等学校養護教諭  
進藤 弘美

7月〇日、校内には軽快な音楽が流れ、生徒は4年ぶりに一般公開が行われる学校祭の準備に熱く取り組んでいます。5月8日より、新型コロナウイルス感染症は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」上の位置づけが5類に移行され、ようやくコロナ禍前の学校生活に近づいてきました。

生徒の健康と安全を守り育てていく場である保健室にとって、夏期の健康課題・安全課題として最も重要なことは熱中症の予防です。熱中症は、気候変動の影響等により、国内での救急搬送数や死亡者数は増加傾向にあります。厚生労働省人口動態統計によると、熱中症による死亡者数は1993年以前は年平均67人ですが、1994年以降は年平均663人と驚くべき数値です。

本校においては、例年5月末から6月にかけて保健だよりで、熱中症の起こるメカニズム、暑熱順化などの具体的な予防行動、応急処置等についての保健指導を行っております。保健管理の側面としては、環境省が発表する「熱中症予防のための運動指針」の掲示、各教室に2台設置されている大型扇風機の活用、授業中も水分補給の推奨などを行っております。こうした取り組みにも関わらず、救急車要請などの大事にはいたっていないものの、学校行事や授業、部活動中などに軽度熱中症は毎年何件か発生しております。我慢強い生徒が多いのか、これくらいの状態なら水分補給をして様子をみると改善すると考えてしまうようで、それが症状の悪化に繋がっている事例もあります。高等学校は保健指導ができる最後の機会です。熱中症に限らず様々な疾病や事故の予防行動や対処方法を身につけ、生涯にわたって健康で安全な行動がとれるようになることを期待し生徒に接するとともに、私たち教員も科学的根拠に基づいた正しい知識を日々更新していかなくてはと肝に銘じております。

高校生は、時として保護者の助言を素直に受け入れないこともあるかと思いますが、ご家庭においても、健康の保持増進につながるバランスのよい食事、質の良い睡眠など規則正しい生活についてご協力いただくと幸いです。

本たよりが発行される頃には、36年ぶりに北海道で開催されたインターハイが無事閉会を迎えることと思います。北海道の高校生、全国の高校生が、事故やケガなく力を存分に発揮し、暑い夏を終えてくれることを願っております。

## 令和5年度 理事・監事・評議員

## ・理事

理事長	海東剛哲	(道高P連顧問・留萌)
常務理事	村井為敦	(道高P連会長・旭川東)
常務理事	金井 禅	(道高P連副会長・札幌西陵)
常務理事	海老田憲人	(道高P連副会長・札幌新川)
常務理事	辻 麻紀	(道高P連副会長・江別)
常務理事	堀川貴庸	(道高P連副会長・帯広南商)
理事	宮澤 一	(道高校長協会会長・札幌南)
理事	駒井博和	(道高体連会長・札幌白石)
理事	堀川智恵	(道高養研副会長・札幌東)

## ※ 常務理事等の業務担当

・運営総括担当	海東剛哲	理事長
・運営総括補佐担当	村井為敦	常務理事
・コンプライアンス担当	堀川貴庸	常務理事
・リスク管理担当	海老田憲人	常務理事
・理事会等議事録担当	辻 麻紀	常務理事
・内部会計監査担当	金井 禅	常務理事

## ・監事

遠藤 卓	(道高P連監事・静内)
森下 亮	(道高P連監事・釧路工業)
野尻敦子	(道高P連監事・札幌国際情報)

## ・評議員

佐藤正宗	(道高P連石狩支部・札幌白陵)
柏倉 正	(道高P連道南支部・函館工業)
高田直紀	(道高P連後志支部・倶知安)
雨池工盛	(道高P連空知支部・岩見沢西)
中村文彦	(道高P連旭川支部・旭川北)
我妻 明	(道高P連留萌支部・留萌)
稲垣秀一	(道高P連名寄支部・士別翔雲)
山野下結衣	(道高P連北見支部・北見北斗)
今井宏昌	(道高P連十勝支部・帯広工業)
森 圭一郎	(道高P連釧路支部・釧路工業)
西垣 努	(道高P連根室支部・中標津)
山端敬史	(道高P連胆振支部・苫小牧南)
三好直樹	(道高P連日高支部・浦河)
藤井一志	(道高等学校長協会・札幌東)
成田 豪	(道高等学校教頭副校長会・石狩翔陽)
岩間 淳	(道公立学校事務長会・有朋)

## 令和5年度 審査委員会委員

三戸和昭	(北海道医師会常任理事)
田西 亨	(北海道歯科医師会常務理事)
津嶋拓慈	(道高校長協会生徒指導委員長)
遠藤美枝	(札幌月寒高校PTA会長)
尾川真一	(札幌北陵高校PTA会長)